

2026 年 10 月 16 日
Stellantis ジャパン株式会社

毎日を、もっと “PANDASTIC” に フィアット 新型「FIAT Grande Panda Hybrid」日本上陸

- 時代を超越するデザインアイコンとなった初代「Panda」の、シンプルで機能的なデザイン思想を継承。ピクセルグラフィックや立体ロゴが現代的な個性を演出
- リンゴットの象徴的な建築美に着想を得たオーバルデザインと、遊び心あふれる心地よいインテリア
- 全長 4,010mm の扱いやすいボディに、412L の荷室容量を確保
- 走行状況により EV 走行も可能な 48V マイルドハイブリッドを搭載し、滑らかで力強い走りを実現



Stellantis ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：成田 仁）は、フィアットの新型コンパクト SUV「FIAT Grande Panda Hybrid（フィアット グランデ パンダ ハイブリッド）」を、11 月 7 日（土）より、全国のフィアット正規ディーラーにて発売します。メーカー希望小売価格は、3,690,000 円（税込）からです。

Grande Panda は、125 年以上にわたり人々の暮らしに寄り添うクルマづくりを続けてきたフ

フィアットの伝統と革新を体現する新型モデルです。1980年に誕生した初代「Panda（パンダ）」の、シンプルで機能的な思想を受け継ぎながら、現代のライフスタイルに求められるデザイン性、快適性、実用性、そしてサステナビリティを融合させました。

フィアットの遊び心あふれるデザインと親しみやすさ、日常での扱いやすさを追求し、幅広いシーンでの活躍を実現。イタリアンブランドならではの個性と実用性で、街中の移動から週末のお出かけまで、毎日の暮らしを楽しく彩ります。フィアットだからこそ届けられる魅力を、より多くの方々に提案する新たな一台です。

“PANDASTIC（パンダスティック）”は、“Panda”と“Fantastic”を掛け合わせた言葉。日々の暮らしをもっと楽しく、自分らしく楽しむという、新型「FIAT Grande Panda Hybrid」が届けたい価値を表現しています。

1980年から受け継がれる「Panda」のDNA

初代「Panda」は、1980年に誕生しました。イタリアを代表する工業デザイナー、ジョルジェット・ジウジアーロ氏が手掛けた初代モデルは、『誰もが気軽に使える、シンプルで実用的なクルマ』という考えのもとに開発されました。

装飾を抑えたスクエアなボディ、限られたサイズの中で室内空間を最大限に活用する合理的な設計、そして日々の暮らしに寄り添う高い機能性。こうした特長によって、「Panda」は世界中で親しまれてきました。その後も、歴代モデルは時代のニーズに合わせてデザインや機能、安全性を進化させながら、コンパクトで実用的という初代の思想を受け継いできました。特に2012年以降は、イタリア国内で最も販売台数の多いシティカーとして、多くの人々の日常を支えています。

Pandaの名を冠したモデルとして4世代目となる「FIAT Grande Panda Hybrid」は、こうした「Panda」のDNAを受け継ぎながら、より幅広いライフスタイルに応えるBセグメントのコンパクトSUVへと進化しました。

車名の“Grande”が示すように、街中での扱いやすさを保ちながら、ゆとりある室内空間と荷室容量を確保。都市部での日常使いはもちろん、ロングドライブやアウトドアレジャーまで、様々なシーンに対応するモデルに仕上げました。

フィアットの原点リンゴット工場から着想を得たデザイン

Grande Pandaのデザインには、フィアット発祥の地であるイタリア・トリノとのつながりが随所に表現されています。

その象徴となるのが、1923年に完成したフィアットの旧自動車工場兼研究所の建物、リンゴットです。完成した車両を建物の最上階まで運び、屋上に設けられた楕円形状のテストコースで走行試験を行う革新的な施設として知られ、現在もフィアットの歴史を象徴する、トリノのランドマークとして親しまれています。

Grande Pandaでは、このリンゴット建築に着想を得たモチーフを、エクステリアからインテリアまで随所に取り入れました。初代「Panda」のデザイン思想とフィアットのルーツを現代的に表現し、細部に至るまでフィアットの個性が息づくデザインです。

初代 Panda の機能美を現代的に表現したエクステリア

エクステリアは、初代「Panda」のスクエアなボディシルエットや機能的なデザインを受け継ぎながら、ピクセルをモチーフとしたグラフィックや立体的なロゴなど、現代的な意匠を組み合わせています。

フロントフェイスには、ブラックグロス仕上げのグリルからヘッドライトへと連続するスクエアモチーフを採用。デジタル画像を構成する四角い点を並べたようなピクセルデザインによって、Grande Panda ならではの表情を生み出しています。

LED ヘッドライトのグラフィックは、1980 年代のデジタルカルチャーやレトロゲームに加え、リンゴットの特徴的な窓から着想を得たものです。フィアットの歴史を想起させるモチーフを現代的な光の表現へ置き換え、伝統と先進性を融合しています。

フロントの FIAT ロゴは中央ではなく、左右非対称となる位置に配置。端正なスクエアデザインの中にアクセントを加えています。また、フロントバー、ホイールアーチ、リアバンパーには、往年のフィアットモデルを想起させる 4 ストライプのアクセントを施しました。



サイドビューは、前方から後方へ向かって高くなる、ウェッジシェイプのボディライン、広いガラスエリア、力強く張り出したフェンダーによって構成されています。初代「Panda」を彷彿とさせる機能的なプロポーションに、SUV の力強さを加えました。

ドア下部には、初代「Panda 4×4（フォーバイフォー）」が築いたタフで機能的なイメージを受け継ぐように、大胆な “PANDA” の レタリングをボディパネルに直接プレス加工しています。実用美を重視した初代の思想を、現代的で力強いデザインとして表現しました。



C ピラーには、FIAT ロゴから 4 本のラインへと変化するレンチキュラーグラフィック*を採用しました。ブランドを象徴するモチーフに視覚的な変化を加え、Grande Panda ならではのユニークな演出です。

*レンチキュラーグラフィック：見る角度によって異なる絵柄や模様が見える特殊な視覚表現



リアビューは、垂直に近いリアエンドと張り出したホイールアーチによって、安定感のあるスタンスを実現しています。キューブ状のリアランプには、フロントと共通するピクセルデザインを採用。さらに立体的な FIAT ロゴと PANDA ロゴを配置することで、フロントからリアまで統一感のあるデザインに仕上げました。



上級グレード、La Prima（ラプリマ）に装備する 17 インチアルミホイールには、1980 年代を思わせる幾何学的なデザインと、未来的な“X”モチーフを組み合わせました。同 La Prima グレードにはルーフレールも標準装備し、日常での使いやすさと SUV らしい力強いスタイルを備えています。



ゆとりある空間とフィアットらしい遊び心を備えたインテリア

インテリアは、乗る人を中心に考えた “Human-Centric Design” に基づいて設計されています。

全長 4,010mm、全幅 1,765mm、全高 1,630mm のコンパクトなボディでありながら、スクエアなボディ形状と 2,540mm のホイールベースを活かし、前席と後席ともにゆとりある空間を確保しました。広いガラスエリアと高めのアイポイントにより、周囲を確認しやすい設計です。

そして、ダッシュボードやディスプレイ周辺、ステアリングなどに、リンゴット工場の屋上テストコースをモチーフとしたオーバル形状を取り入れました。エクステリアのスクエアな形状と対比するこの「リンゴットサークル」デザインを随所に採用することで、直線的なエクステリアとの対比により、インテリアには柔らかなリズムとデザインの奥行きを生み出しています。

デジタルメーター内には、テストコースを走る初代「Panda」のシルエットを取り入れるなど、車内の細部にもフィアットの歴史と遊び心を表現しています。



基調色には「タスマニア ブルー」を採用。ダッシュボード、センターコンソール、エアベント、インフォテインメントディスプレイ周辺、シートステッチなどに鮮やかなイエローのアクセントを配し、明るく親しみやすい室内に仕上げました。



シートには、丸みを持たせたデザインを採用し、室内に一体感をもたらすとともに、身体を支える座り心地にも配慮しています。La Prima グレードの専用シートには、「PANDA MADE WITH LOVE IN FIAT」のレタリングをあしらい、乗り込むたびにフィアットらしい個性を感じられるデザインとしています。



コンパクトなボディに凝縮した高い実用性

「FIAT Grande Panda Hybrid」は、初代「Panda」から受け継いだ『限られたサイズの中で空間を最大限に活用する』という考え方に基づき、日常生活での使いやすさを追求しています。

ラゲッジ容量は通常時で 412L を確保し、後席を倒すことで最大 1,366L まで拡大できます。スクエアな荷室形状により荷物を効率よく積み込むことができ、日々の買い物から家族での旅行、アウトドア用品を積載する週末のレジャーまで、幅広い用途に対応します。

また、ダッシュボード上部と下部のグローブボックス、オープンシェルフをはじめ、車内各所に合計 13L の収納スペースを確保しました。スマートフォンや小物類などを整理しやすく、日常での使い勝手を高めています。

直感的に扱える操作系のレイアウトと、限られた空間を効率的に活用した設計を組み合わせることで、デザイン性だけでなく、日常のさまざまなシーンで使いやすい機能性を実現しています。

デザイン性と環境への配慮を両立したサステナブル素材

さらに、インテリア素材においても、デザイン性と環境への配慮を両立しています。

車両 1 台あたり、約 140 本分の飲料用紙パックに由来するリサイクル素材「Lapolen Ecotek（ラポレン・エコテック）」をインテリア各部に採用しました。

一般的な飲料用紙パックのリサイクルでは、紙の部分が再利用される一方、プラスチックとアルミニウムを組み合わせた部分は再利用が難しいとされています。Grande Panda では、その部分を回収し、内装用の樹脂素材として再利用しました。素材に含まれるアルミニウム粒子が独特の輝きを生み出し、再生素材でありながら個性のある質感に仕上がっています。

さらに、La Prima グレードのダッシュボードには、フィアットとして初めて「BAMBOX Bamboo Fiber Tex®（バンボックス・バンブー・ファイバー・テックス）」を採用しました。天然竹繊維を約 33% 配合した素材で、自然素材ならではの温かみのある風合いを室内にもたらしめます。

竹繊維を用いた素材は、車名である「Panda」を想起させるモチーフでもあり、素材まで含めて楽しさを表現する本モデルならではのこだわりです。



走行状況により、EV 走行も可能な 48V マイルドハイブリッドシステム

48V マイルドハイブリッドシステムを搭載。1.2L ガソリンターボエンジンと電動モーター、6 速デュアルクラッチトランスミッション（DCT）の組み合わせにより、最大出力 110ps を発揮し、街乗りから高速走行まで、滑らかで力強い走りと高い燃費性能を実現しています。また、走行状況によって、モーターのみで走行することができ、30km/h 以下では最大約 1km の EV 走行が可能です。

エンジン：	1.2 L 直列 3 気筒ガソリンターボエンジン
モーター最高出力：	15 kW
駆動用バッテリー：	48V
システム合計最高出力：	81kW / 110 PS
トランスミッション：	6 速デュアルクラッチトランスミッション
燃費：	20.8km/ℓ（WLTC モード）

日々の運転を支える安全・運転支援機能

Grande Panda Hybrid には、日常のさまざまな場面でドライバーを支援する安全・運転支援機能を搭載しています。

前方の車両や歩行者、自転車を検知し、衝突の危険がある場合に警告およびブレーキ制御を行うアクティブセーフティブレーキをはじめ、車線からの逸脱を抑制するレーンキープアシストを採用しています。

また、対向車や先行車、周囲の明るさを検知してハイビームとロービームを自動で切り替えるインテリジェントハイビーム、坂道発進時の後退を抑えるヒルスタートアシスタンス、エレクトリックパーキングブレーキも装備しています。

フロントソナー、リアソナー、バックカメラにより、狭い駐車場や周囲との距離を確認しにくい場所での駐車もサポートします。

ボディカラー

イタリアらしい明るさと個性を表現した「リモーネ イエロー」、空や海を思わせる開放的な「アクア アジュール」、上質で都会的な佇まいの「チネマ ブラック」、そしてシンプルで親しみやすい「ジェラート ホワイト」の 4 つの新色を用意しました。



グレード

シンプルで機能的な魅力と基本装備をまとめた ICON（アイコン）と、Grande Panda のデザインと快適性をより豊かに楽しめる装備を備えた La Prima（ラプリマ）の 2 グレードを展開

します。

豊富なアクセサリで自分らしい一台に

「FIAT Grande Panda Hybrid」のデザインをさらに引き立てる純正アクセサリも用意しています。

ボディサイドを彩るレタリングデカールやドアミラーカバーをはじめ、デジタルルームミラー、スマートフォンホルダー、ドライブレコーダー、フロアマット、リアサイドサンシェードなど、デザイン性と実用性を兼ね備えたアイテムをラインナップしました。

日々の使い勝手を高めるだけでなく、オーナーそれぞれのライフスタイルや趣向に合わせて、自分らしい Grande Panda を楽しむことができます。

「FIAT Grande Panda Hybrid」価格表

モデル	グレード	ボディカラー	希望小売価格（税込）
FIAT Grande Panda Hybrid	ICON	ジェラート ホワイト	¥3,690,000
		リモーネ イエロー アクア アジュール チネマ ブラック	¥3,745,000
	La Prima	ジェラート ホワイト	¥4,090,000
		リモーネ イエロー アクア アジュール チネマ ブラック	¥4,145,000
FIAT Grande Panda Hybrid ウィンターパッケージ	La Prima	ジェラート ホワイト	¥4,145,000
		リモーネ イエロー アクア アジュール チネマ ブラック	¥4,200,000

詳細は、巻末の主要諸元・装備表と併せ、商品サイトをご確認ください。

URL : <https://www.fiat-auto.co.jp/models/fiat-grande-panda>

FIAT について

FIAT（フィアット）は、1899年にイタリア・トリノで創業された、遊び心あふれるライフスタイルを提案し続ける自動車ブランドです。125年以上にわたり、イタリアンデザインの美しさと革新性を兼ね備えたモデルを数多く生み出しています。「人生をもっと楽しく、もっと自由に」をテーマに、日常に彩りを添えるモビリティブランドとして、これからも多様なライフスタイルに寄り添い続けます。

以上

問い合わせ先（報道関係者）

Stellantis ジャパン株式会社 広報部

stellantis-japan-pr@stellantis.com（広報部代表）

メディアサイト：<https://www.stellantis.jp/>

<主要諸元表>

モデル名		Grande Panda Hybrid ICON	Grande Panda Hybrid La Prima
車名		フィアット	
型式		5AA-F1GPM	
類別区分番号		0001	0002
ハンドル位置		右	
全長 (mm)		4,010	
全幅 (mm)		1,765	
全高 (mm)		1,585	1,630
ホイールベース (mm)		2,540	
トレッド 前 / 後 (mm)		1,500 / 1,510	
車両重量 (kg)		1,270	
乗車定員 (名)		5	
フロントモーター	型式	ZA03	
	種類	交流同期電動機	
	定格出力 kw	6.3	
	最高出力 kw (ps) /rpm [ECE]	15 (20)/4,264	
	最大トルク <Nm/rpm> [ECE]	51/750-2,499	
動力用主電池	種類	リチウムイオン	
	定格電圧 V	37	
	総電力量 kWh	0.876	
エンジン型式		HN09-ZA03	
エンジン種類		直列3気筒 DOHC (ターボチャージャー付)	
総排気量 (cc)		1,199	
ボア x ストローク (mm)		75.0 x 90. 5	
圧縮比		11.5	
最高出力 <kW (PS) / rpm> [ECE]		74 (101)/5,500	
最大トルク <Nm / rpm> [ECE]		205/1,750	
燃料供給装置		電子制御式燃料噴射	
使用燃料		無鉛プレミアムガソリン	
燃料タンク容量 (ℓ)		44	
駆動方式		前輪駆動	
トランスミッション形式		電子制御式6速デュアルクラッチトランスミッション	
変速比		1速15.898/2速9.671/3速6.101/4速4.640/5速3.440/6速2.610/後退14.205	
最終減速比		1.000	
ステアリング形式		ラック & ピニオン	
サスペンション	前	マクファーソンストラット	
	後	トーションビーム	
主ブレーキ	前	ベンチレーテッドディスク	
	後	ディスク	
タイヤサイズ		205/60 R16	205/55 R17
最小回転半径 (m) [欧州参考値]		5.5	
燃料消費率* (km/ℓ) [国土交通省審査値]	WLTCモード	20.8	
	市街地モード	14.8	
	郊外モード	24.1	
	高速道路モード	22.8	
CO2排出量 [燃費換算値] (g/km)		112	
主要燃費向上対策		ハイブリッドシステム 可変バルブタイミングコントロール 筒内直接噴射 アイドリングストップ 電動パワーステアリング	
カーエアコン冷媒 (GWP値**) /使用量 (g) /目標値/目標年度		HFO-1234yf(1)/450/GWP150/2023年度	

*燃料消費率は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

WLTC モード :市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード

市街地モード :信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定

郊外モード :信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定

高速道路モード :高速道路等での走行を想定

**GWP = Global Warming Potential（地球温暖化係数）

<主要装備表>

	ICON	La Prima
視界関連		
アコースティックウインドシールド	●	●
LED ヘッドライト	●	●
オートハイビーム	●	●
ヘッドライト光軸補正コントローラー	●	●
オートライト	●	●
LEDデイトタイムランニングライト	●	●
レインセンサー	-	●
ヒーター電動格納式ドアミラー（オート格納機能付）	-	●
自動防眩ルームミラー	-	●
リアデフロスター	●	●
リアプライバシーガラス	-	●
LED テールランプ	●	●
LED リアフォグランプ	●	●
インテリア		
La Prima専用ファブリックシート	-	●
ICON専用ファブリックシート	●	-
高さ調整機能付きフロントシート	●	●
BAMBOX Bamboo Fiber Tex® ダッシュボード	-	●
LEDマップランプ	-	●
カーゴルームランプ	-	●
60 : 40分割可倒式リアシート	●	●
ステアリング&コントロール		
レザー調ステアリングホイール（オーディオ / ハンズフリーコントローラー付）	-	●
チルト&テレスコピックステアリング	●	●
10インチフルカラーTFTマルチファンクションディスプレイ 総走行距離、シフトポジション、デジタルスピードメーター、警告メッセージ、 ドアモニター、ドライブアシスト、ユーザー設定、瞬間燃費、トリップレポート	●	●
電動パワーステアリング	●	●
e-Toggle（トグル式電子シフト）	●	●
エクステリア&足まわり		
グロスブラックドアハンドル	●	●
グロスブラックミラーキャップ	●	●
ルーフレール	-	●
17インチ アルミホイール+ 205/55 R17 タイヤ	-	●
16インチ スチールホイール+205/60 R16 タイヤ	●	-
タイヤリペアキット	●	●
オーディオ&空調		
マニュアルエアコン	●	-
オートエアコン	-	●
FM + AMチューナー付 オーディオプレイヤー 10.25インチタッチパネルモニター、Apple CarPlay/Android Auto対応、Bluetooth®（ハンズフリー通話 / オーディオストリーミング）	●	●
6スピーカー（4スピーカー+2ツイーター）	●	●
ワイヤレスチャージングパッド	-	●

●:標準装備、-:設定なし

セーフティ		
イモビライザー	●	●
アクティブセーフティブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ） [歩行者検知機能付き]	●	●
エレクトロニック スタビリティ コントロール（ESC）	●	●
トラクションコントロールシステム（TC）	●	●
緊急ブレーキアシストシステム	●	●
ヒルスタートアシストシステム	●	●
スピードリミッター	●	●
クルーズコントロール	●	●
レーンキーピングアシスト（LKA）	●	●
ドライバーアテンションアラート	●	●
ドライバーモニタリングカメラ	●	●
フロントエアバッグ	●	●
サイドエアバッグ（前席シート組込型）	●	●
フロント・リア カーテンエアバッグ	●	●
3点式シートベルト（前席、プリテンショナー + ロードリミッター付）	●	●
3点式シートベルト（後席）	●	●
ISO FIX（後席左右）	●	●
トップテザーアンカー（後席左右）	-	●
シートベルトリマインダー（全席）	●	●
TPMS [タイヤ空気圧モニタリングシステム]	●	●
フューエルリッド電動ロック	●	●
ESS [ハザードランプ緊急制動表示機能]	●	●
オートドアロック	●	●
セキュリティアラーム（モーションセンサー付）	●	●
ユーティリティ&コンフォート		
ウェルカムランプ	●	●
12V電源ソケット	●	●
USB Type-Cポート（フロント：充電対応×1、データ通信・充電対応×1）	●	●
USB Type-Cポート（リア：充電対応×2）	-	●
パワー ウィンドウ（フロント：ワンタッチ開閉式）	●	●
シートポケット（運転席及び助手席）	●	●
キーレスエントリー	●	●
エンジンスタートボタン	-	●
リアビューカメラ	-	●
フロントパーキングセンサー	-	●
リアパーキングセンサー	●	●
エレクトロニックパーキングブレーキ	●	●
ウインターパッケージ		
シートヒーター（前席）	-	OPT
アコースティックヒートドウィンドシールド		
ヒートドステアリングホイール		

●:標準装備、OPT:メーカーオプション、-:設定なし